

製品安全データシート

1 製品及び会社情報

会社名 アルプス株式会社
住 所 東京都新宿区早稲田南町 33
電話番号 03-3207-0006
FAX番号 03-5272-0051
緊急連絡電話番号 上記に同じ

作成日 2015 年 11 月 5 日

製品の名称 アルプスフネン専用ボンド AB-1BU

2 危険有害性の要約

GHS分類：

可燃性個体	区分外
急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（吸入：上記）	区分外
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	区分外
生殖毒性	区分外

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない

ラベル要素：

・絵表示



・ 注意喚起語 警告

・ 危険有害性情報
アレルギー反応を引き起こすおそれ

・ 注意事項（GHS 対応表記）

安全対策：粉じん・ミスト・蒸気・スプレーの吸入を避けること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保護手袋・衣類・保護眼鏡を着用すること。

救急措置：皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。

特別処置が必要。『4. 応急処置』を参照。

皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受けること。

汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。

廃棄：内容物や容器を廃棄する場合は、法令・条例に従って廃棄すること。

※製品ラベルの有害性情報は製品群毎に共通の内容としていますので、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名 : 変成シリコーン系接着剤
成分及び含有量 :

成分名	含有量 (%)	CAS 番号
変成シリコーン樹脂等	30～40	—
内) : 鉱油	6	—
無機充填剤	60～70	—
内) : シリカ	0.5	—

本製品には厚生労働省指定 13 物質は使用していません。

4 応急措置

目に入った場合 : 清浄な水で 15 分間以上洗眼し、眼科医の診断を受ける。
皮膚に付着した場合 : 付着物をふき取り、水と石鹸でよく洗う。かゆみ、炎症が出た場合は、直ちに医師の診断を受ける。
吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合 : 可能な限り吐かせた後、医師の診断を受ける。

5 火災時の措置

特定の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。
消火を行う者の保護 : 保護衣を着用するほか、状況によっては、不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。
消火剤 : 水 [], 二酸化炭素 [○], 泡 [○], 粉末 [○], 乾燥砂 [○]
その他 ()

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 漏出した場所の周辺にはロープを張り、人の立入りを禁止する。
付近の着火源を取り除き、消火器材を準備する。
環境に対する注意事項 : 多量の場合には流路を盛土などで囲って流出を防止する。
除去方法 : 少量の場合は、ウェス、砂などに吸収させ、フタ付の容器等に回収する。
多量の場合は火花の出ないシャベル等で空容器等にすくい取る。
※流出, その他の事故が発生した時は、警察署、消防署等の関係機関に連絡する。

7 取扱い及び 保管上の注意

取扱い : 皮膚に触れないよう保護手袋等の保護具を着用する。取扱い後は手洗いを充分に行う。
火気厳禁。
混合接触させてはならない物質 : 湿気・水との反応により高分量化し、増粘・ゲル化を起こす。
容器包装材料 : 容器は破損、腐食、割れ等のないものを使用する。
保管 : 直射日光を避け、容器を密閉し、冷暗所に保管する。
消防法の法令に定めるところに従う。

8 暴露防止及び 保護措置

保護具 : 呼吸器の保護具 : 状況に応じ、防塵マスク、防毒マスクを着用する。
目の保護具 : 状況に応じ、普通眼鏡型、ゴーグル型を着用する。
手の保護具 : 状況に応じ、ビニル製、PE 製、ゴム製等の非浸透性の手袋を着用する。
皮膚及び身体の保護具 : 状況に応じ、長袖作業衣等を着用する。

9 物理及び化学的 性質

物理的状态 : ペースト状
色 : 薄灰色
臭い : わずかにあり
PH 及びその濃度 : 測定できない
物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲 : 知見なし
密度 : $1.5\text{kg}\cdot\text{m}^{-3}$ (20°C)
溶媒に対する溶解性 : 水に不溶
引火点 : 150°C

1 0 安定性及び反応性	安定性：通常の取扱い条件においては安定。 特定条件下で生じる危険な反応：湿気・水との反応により高분量化し、増粘・ゲル化を起こす。 危険有害な分解生成物：知見なし
1 1 有害性情報	急性毒性：知見なし 局所効果（皮膚，眼）：皮膚・粘膜を刺激する恐れがある。
1 2 環境影響情報	現在のところ知見なし。 漏洩時、廃棄などの際には注意を守ること。
1 3 廃棄上の注意	残余廃棄物：廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び都道府県条例等に基づき焼却するか、許可を受けた処理業者に委託する。ウエス等も同様である。 汚染容器・包装：内容物を完全に除いた後処分する。処理は法規の規定に従って行う。
1 4 輸送上の注意	「取扱い及び保管上の注意」の項に記載による。その他 消防法等の法令に定める所に従う。 容器に漏れのない事を確かめ、転倒，落下，破損がないよう、積み込み荷崩れの防止を確実に行なう。 国連分類及び国連番号：国連の基準で評価して、危険物に該当しない。
1 5 適用法令	消防法：指定可燃物（可燃性固体） 労働安全衛生法：5 7 条－1 表示対象物質 該当せず 労働安全衛生法：5 7 条－2 通知対象物質 鉱油、シリカ PRTR法：該当せず 毒物及び劇物取締法：該当せず
1 6 その他の情報	J I S A 5 5 3 8 (壁・天井ボード用接着剤) 認定品 ホルムアルデヒド放散による区分 F☆☆☆☆ ホルムアルデヒド基準： 日本接着剤工業会自主管理規定 JAIA 0 0 1 5 6 3 F☆☆☆☆ 4 VOC 放散速度基準： 日本接着剤工業会自主管理規定 JAIA 4 0 2 5 4 7 4 VOC 基準適合 記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。 また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。 引用文献 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 2 0 9 3 の化学商品 化学工業日報社 ・ 化学物質の危険，有害便覧 中央労働災害防止協会 ・ 知っておきたい職場の化学物質 中央労働災害防止協会 ・ 製品安全データシートの作成指針 日本化学工業協会